

参考様式1

農山漁村発イノベーション等整備事業(定住促進対策型、交流対策型)事業実施計画

計画主体名	計画期間
ひょうごけん・たからづかし 兵庫県・宝塚市(代表)	令和4年度～令和6年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
宝塚市産業文化部産業振興室農政課	0797-77-2036	0797-77-2113	m-takarazuka0080@city.takarazuka.lg.jp

【記入要領】

- 計画主体名
- ・市町村名にはふりがなをふること。
 - ・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載すること。
- 計画期間
- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。
- 連絡先
- ・共同計画の場合は行を追加し、すべての計画主体の連絡先を記入すること。
- メールアドレス
- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
農林水産物等の販売・加工促進	ダリア生産拠点施設を改築し、新たに保存・加工・販売スペースを充実させることで販売力を向上させ、新たな担い手の掘り起こし、並びに購買客、観光客の増加につなげ、都会と農村を結びつけるさまざまな取り組みにより、地域活性化を図る。

II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
本事業により整備された地域連携販売力強化施設の売り上げ	10,924千円	10,924千円÷53,160千円(R5~R7の目標平均額)×42,236千円(H30~R2平均売上額)
第1評価指標の設定根拠	【現状値】H30:38,543千円、R1:36,701千円、R2:51,466千円⇒3年間の平均値:42,236千円 【目標値】R5:53,160千円、R6:53,160千円、R7:53,160千円⇒3年間の平均値:53,160千円	
第2評価指標(任意)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
本事業により整備された地域連携販売力強化施設への来園者数	8,132人	8,132人=16,800人(R5~R7の目標平均来園者数)×8,668人(H30~R2の平均来園者数)
第2評価指標の設定根拠	ダリア生産拠点施設整備により見込まれる来場者数をもとに目標値を設定。 【現状値】H30:6,577人、R1:7,478人、R2:11,950人⇒3年間の平均値:8,668人 【目標値】R5:16,800人、R6:16,800人、R7:16,800人⇒3年間の平均値:16,800人	
第3評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
子どもの農業体験イベント開催回数	2回	2回=12回(R5~R7の目標開催回数)×10回(H30~R2の平均開催回数)
第3評価指標の設定根拠	【現状値】H30:10回、R1:10回、R2:10回⇒3年間の平均値:10回 【目標値】R5:12回、R6:12回、R7:12回⇒3年間の平均値:12回	
評価期間(原則として3年間の効果発現状況を把握する期間)	評価報告予定年(評価期間の終了直後の9月末日まで)	
令和5年4月~令和8年3月	令和8年	

【記入要領】

全般

・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

事業活用活性化計画目標・事業活用活性化計画目標の項目は実施要領の別紙に掲げる項目から選択するものとする。

評価指標

・評価指標の記載に当たっては実施要領及び「事業活用活性化計画目標の評価指標の設定について」により記入すること。

IV 他の施策との連携に関する事項

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等

【記入要領】

- ① 交付対象となる事業のうち、実施要領第6に掲げる施策と連携して実施する事業にあつては、連携施策名、連携施策の内容及び交付対象事業との関連性を記載すること。
- ② 連携する施策名には、実施要領第6に掲げる施策を記載すること。
- ③ 事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記載すること。
- ④ 地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
- ⑤ 必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

